

しょう しん しょう めい  
笑進笑明

<校訓>  
・学ぶ力  
・働く力  
・正す力

平群中だより  
編集者:吉迫隆志  
NO.13  
令和6年1月9日

# 謹賀新年 2024年の幕開け 今年の夢は、目標は！



“あけましておめでとうございます,, 新しい年 令和6年がスタートしました。  
みなさん、いい年明けを迎えていますか？”

令和6年1月1日(月)、能登半島地震が起こりました。みなさん、ご家族・ご身内などご無事だったでしょうか。私は、福岡の実家で新年を迎えておりましたが・・・夕方、サッカー日本代表の試合後の森保監督のインタビューを聞いていると、突然の「地震速報」・「大津波警報」・・・その後は、テレビの報道に釘付けになりながら、大変なことになっていく中で、平群の方も震度4の地震がおこったという報道をみて、みんなの無事や被害がないことを祈りながら、元旦の夜を過ごしました。



そして、翌朝(2日)“あたりまえ,,のように目が覚め、食事ができることは、決して“あたりまえ,,ではない。「有難い」ことなんだ。天災は本当にいつどこにでも起こりうるということを本気で考えて生活しなければならないと痛感しました。だからこそ、一日一日を大切に過ごすことが大事です。将来の夢や希望に向けて、今夢中で取り組んでいることを続けてみるのが大切です。

この度の能登半島地震により、お亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまのご無事と、被災地の一日も早い復旧と復興を心よりお祈り申し上げます。

さあ、3学期のスタート。1・2年生のみんなは、次の学年へつなげる大切な学期となります。さらなる「飛躍」を目指して頑張ろう！3年生のみんなは、自分の道を開拓する本番を迎えます。心と身体の準備を万全にして頑張りましょう。

そして、我が平群中学校で過ごす一分一秒を大切に！

あらたまの年の若水 くむ今朝は  
そぞろにももの 嬉しかりけり  
(樋口 一葉)



さて、今年の干支(えと)の「辰(たつ)」には、どのような意味があるのか、知っていますか?!ちょっと調べてみました。

辰は「ふるう、ととのう」という意味があり、辰すなわち龍は中国で古くから偉大な生き物、神の化身、様々な霊力を持つものと考えられてきた。日本でも龍はやはり力の象徴であり、植物の成長に欠かせない水をつかさどる神としてあがめられてきました。

2024年は「甲辰(きのえたつ)」十干では甲、十二支では辰にあたるため、甲辰(きのえたつ)の年となる。甲とは「甲乙丙丁~癸」の始まりであり、物事の始まりととらえられています。そして辰は発芽した植物がしっかりとした形になる、勢いと大きな力、成功ととらえることができる。この二つが合わさる甲辰は、新しいことを始めて成功する、いままで準備してきたことが形になるといった、縁起のよい年になると考えられています。「甲辰」は、「春の日差しが、あまねく成長を助く年」になり、春の暖かい日差しが大地すべてのものに平等に降り注ぎ、急速な成長と変化を誘う年になりそうです。

すべてのものに平等に降り注ぐということは、これまで陰になっていた部分にも日が当たり、報われ、大きな成長を遂げるといったことも期待できます。逆に、自分にとって隠しておきたい部分にも日が当たり、大きな変化が起きる可能性もあるかもしれませんね。これらの可能性を目指して成長を積み上げて、今年を駆け抜けよう!!



お世話になります

正門にある門松は、みなさんの為に、年末(12/28)に、お正月を迎えるにあたり立派な門松を地域の方と学校ボランティアの方が協力して作っていただきました。本当にありがとうございます。

お会いした時には、みんなでお礼を言いましょね!

【保護者の皆様へ】

新年あけましておめでとうございます。2024年(令和6年)の元旦の朝、差し込む朝日はとても神神しく、身の引きしまる思いがしました。しかし、震災・航空機事故など不安なことも多い中でのスタートとなりましたが、“平群中学校,,元気に力強くスタートします。今年もよろしく願います。